

都議会議員選挙へ 公認決定！

この度私、安藤おさみは、7月に予定されている都議会議員選挙の民進党公認候補予定者に決定致しました。昨年秋頃より、民進党八王子支部内で候補者について議論してきましたが、この度、民進党所属の八王子市議会議員4名を含む役員で互選を行うと同時に、世論調査を実施した結果、それぞれ私が最も多くの指示を賜り、ご推挙頂くこととなりました。市議会2期、36歳の若輩ですが、**若さを活かしての行動力、突破力**にご期待頂いての事だと認識しており、身の引き締まる思いです。自民党が多数を占める都議会が誕生して約4年。この間都政は混迷を極めました。猪瀬、舛添両都知事(共に自民党が推薦)の金銭スキャンダルによる連続辞任にはじまり、小池新知事が誕生してからは6,000億円以上もの税金をつぎ込んで前のめりに進めてきた豊洲新市場がここにきての汚染水問題が発覚するなど、情報公開の不足や都議会と行政のなれ合いに依拠した問題が噴出しています。**今こそ都政改革を前に進め、私が市議会でも取組んで結果を出してきた議会改革を進め、議会の調査能力の向上と情報発信を強化したいと思います。**

また、八王子市では三多摩格差の解消をはじめ、旭町明神町地区の合同庁舎の再整備、都道等の整備都有地の活用など、課題解消に向け、東京都とのパイプ役となっていきたいと思っております。



ご意見、語る会(座談会)、後援会ご入会、随時募集中！

お名前 _____ お電話番号 _____

ご住所 _____

■ご意見・ご要望、座談会で語りたいテーマなど

安藤おさみHP・ブログ・Facebook【安藤おさみ】で検索！
メール：osamiando55@gmail.com

上記ご記入のうえ、この用紙をFAXください。

発行所：安藤修三後援会事務所：八王子市散田町1-7-2
TEL&FAX 042-664-1920

【討議資料】

号外
2018年 月 日
民進党 民進プレス編集部
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1
TEL 03-3595-9988(代表)
press@minshin.or.jp
https://www.minshin.or.jp/

あんど う 修 三
安藤 おさみ

市政報告 **八王子市議会議員**

市民・民進クラブ



ごあいさつ

立春の候、まだまだ寒い日が続きますがいかがお過ごしでしょうか。

本年は八王子市制施行100周年の節目の年となります。ことし1年、様々に記念イベントが実施されます。詳細については私のブログでも述べておりますが、市民の皆さんとこの1年を盛り上げていきたいと思っております。

また、7月には都議会議員選挙が予定されています。**この度私は、都政のヤミを打ち破るため、立候補を決意致しました。**※詳細は裏面※変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。



<安藤おさみ プロフィール>

1980年4月28日散田町のサラリーマン家庭に生まれる。

【学歴】山田小、第七中、日大三高、日本大学生物資源(旧農獣医)科学部卒業、早稲田大学大学院 公共経営研究科修了。

【職歴】(株)フィッコーポレーション(商社)、(株)船井総合研究所

【政治活動】平成27年 市議会議員選挙2期目当選。現在、市議会都市環境委員会委員長 【その他】いちよう祭り実行長代行、消防団第9分団1部班長、地元自治会会長を3期経験。

私の主張・提案 <一般質問など>

～虐待から子どもを守ろう！～※決算審議より

昨年8月、厚生労働省は平成27年度の児童虐待通告件数が、25年前の統計開始以来初めて、10万件を超えたと発表しました。八王子市においても、平成27年度に子ども家庭支援センターが受けた虐待相談件数は15,642件となり、平成21年度の2,385件と比較してもこの7年間で約7倍に急増しています。そのうち、支援が必要だと認定された児童の数は、同じく平成21年度には112人だったものが、平成27年度には644人とこちらも急増しています。この数字は、0歳から6歳の児童の実におよそ90人に1人が「新たに」虐待の恐れがあり支援が必要だと認定されていることとなります。このような状況の中、八王子市ではわずか16名程度の職員で虐待相談に対応しています。職員一人当たり、単純計算で実に年間約1000件もの相談に対応していることとなります。市としてもこの状況を深刻に捉えている旨の答弁がありましたが、まずはきめ細かい対応が出来るように人員増を含むマンパワーの拡充が必要です。その上で、虐待に至る原因の研究とその対応、ひいては強い権限をもつ児童相談所設置の必要性を訴えました。台町にある八王子児童相談所（現在は東京都が運営）は、担当地域が八王子市の他に日野市、町田市と広域となっており、保護施設などもいわばパンク状態が問題とされています。例えば八王子で保護が必要な子どもがいたとしても、定員オーバーで保護出来ないケースもあるそうです。さらに、児童相談所には緊急の場合には一時保護や親子分離など強い権限が与えられています。

八王子の子どもは八王子で守るという意味でも、児童相談所を八王子独自で運営することは意義があります。虐待は、著しい人権侵害であるとともに、それを受けた児童が成長した後も心に傷跡を残し、社会的生産性にも悪い影響を及ぼします。虐待を減らす事は、子どもを直接的に救うだけでなく、社会的な未来への投資になるのです。これからも、虐待防止に向けて市に提案していきたいと思ひます。



(八王子児童相談所)

～富士森公園陸上競技場について～ ※一般質問より

富士森公園は、本年9月に予定されている「全国都市緑化フェアはちおうじフェア」のメイン会場に決定していることもあり、現在急ピッチで様々な改修工事が行われています。

その中で、来年度以降に陸上競技場の改良工事が行われ、4種公認陸上競技場へと生まれ変わる計画があります。それに伴い、現在常時開放されている現在の利用形態から、利用料金制などへ変更がなされる可能性が示唆されています。私は、平成27年の12月議会の一般質問でこの問題を取り上げ、以来、4種公認となって大会や記録会等が実施出来るようになることは良いことだが、自由に利用出来ている現在の形態が変更されるのは良くないし、整備することによって利用率が下がれば本末転倒だと訴えてきました。

また、地元町会の皆様からも同主旨の要望書が市長に提出されていたところですが、本誌発行にあたり、改めて市に問い合わせたところ、地元住民の皆様の要望を尊重し、前向きに検討している旨の回答がありました。正式な方針決定はまだ先とのことですが、現時点で前向きな回答が得られた事は喜ばしい事です。今後も働きかけを継続していきます。



※陸上競技場(西側から)

～市制100周年。節目の年に地域の歴史を見つめ直そう～

昨年、かつて大久保長安公が築いたと言われる、浅間神社の富士塚などを、八王子市の文化財、史跡への指定に向けて要望活動を行いました。現在これを受けて八王子市は、現在歴史的価値等の文化財・史跡に相応しいかどうかの調査を開始しています。本年は市制施行100周年。地域の歴史を再評価する良い機会だと思います。調査結果が出るのは通常1～2年程度かかるそうですが、良い結果が出るよう、情報提供等を続けます。



富士塚(浅間神社)